

主要刊行物

平成14年度に当館より刊行された主要刊行物は以下のとおりである。展覧会カタログについては、各展覧会活動の頁を参照されたい。

1 館蔵品図録

『オーギュスト・ロダン 静岡県立美術館ロダン・コレクション・カタログ』

日本でも有数のコレクションを誇るロダンの彫刻作品を、豊富な細部写真入りで簡明にまとめたカタログ。内容は主にふたつの部分から成る。ひとつはロダンの芸術の特質を項目ごとに解説した部分（例：ロダンの制作過程、女性、彫刻の素材、形の反復など）、もうひとつはロダンを巡るキーワードをAからZまでフランス語で設定して、それぞれにまつわるエピソードを紹介した部分である。巻末には、ロダン以外の当館の西洋彫刻コレクションをまとめた。

版形等：B 5 変形、80頁、オールカラー

執筆：南 美幸、堀切正人、村上 敬、泰井 良

2 報告書

『Circles/Lines 「田中敦子」展普及プログラム記録集』

当館では、2001年に開催された「田中敦子」展に併せて4つの公開・参加型および実技・体験型の普及プログラムを行ったが、そのうちの以下の3つのプログラムをまとめた記録集。アート・フォーラムは、「田中敦子」展から導き出された現代美術を巡る4つのテーマで計4回、おひとりずつ講師を迎え、講師と参加者/参加者同士の交流を目指したもの。子どもワークショップは、田中敦子の作品世界に関連したテーマを設定し、制作・鑑賞の両面からアプローチした小学生対象のワークショップ。ギャラリー・ツアーは、当館のボランティアと、美術館外部から一般募集した有志の方々のグループによる、展覧会を分かりやすく伝えるツアーを行っ

たもの。これらのプログラムは何れも、とかく難解と敬遠されがちな現代美術の普及を目指し、人と作品/人と人との対話・交流が、<田中敦子展>という垣根や時間を越えて継続されることを意図した。その意味では、この記録集の刊行そのものも、プログラムの継続の一端にある。

版形等：A 4、36頁、オールカラー

構成 目次

*アート・フォーラム

第1回 中津川浩章氏「日本の現代美術 東と西」

第2回 「田中敦子・自作を語る」

第3回 倉科勇三氏「大人の美術のはなし。ワークショップのココロみ」

第4回 奥村靱正氏「多様な色の意味について」

*子どもワークショップ「^{美、微、っ}ビビッと感じて、じっく^かり描こう」

*ギャラリー・ツアー

謝辞

執筆・編集：南 美幸

『粘土ワークショップの記録 1999-2002』

当館で開催されている学校向けの普及活動には、美術館の裏側を紹介する裏方ツアーなどがあるが、平成11年度から開始した粘土ワークショップは、最も人気のあるプログラムに成長した。本書は、その内容や魅力を紹介するものである。また、これまでの取り組みを振り返ることで、粘土ワークショップを今後どのように展開していくかを考える機会とすることを目的とした。

版形等：A 4、14頁、2色刷

執筆：石上和宏、柏原幸泰



オーギュスト・ロダン 静岡県立美術館ロダン・コレクション・カタログ



『Circles/Lines 「田中敦子」展普及プログラム記録集』



『粘土ワークショップの記録 1999-2002』